



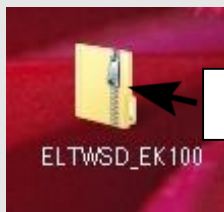
エアーチェッカーMB-530 専用ソフト取扱説明書

CO² / VOCsモニター

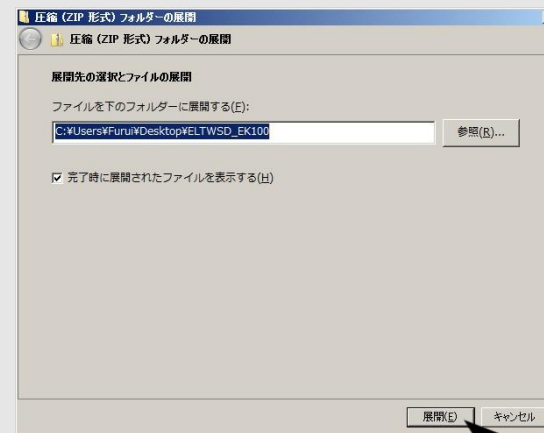
目次

		ページ
1	インストール	3
2	接続	4
3	モニタリングと保存	5 - 6
4	CO ² アラーム音・ CO ² ランプの濃度設定	7
5	CO ² モニターの校正	8 - 9


- ① ダウンロードした「ELTWSO_EK100」圧縮ファイルを任意の場所に保存し、展開します。

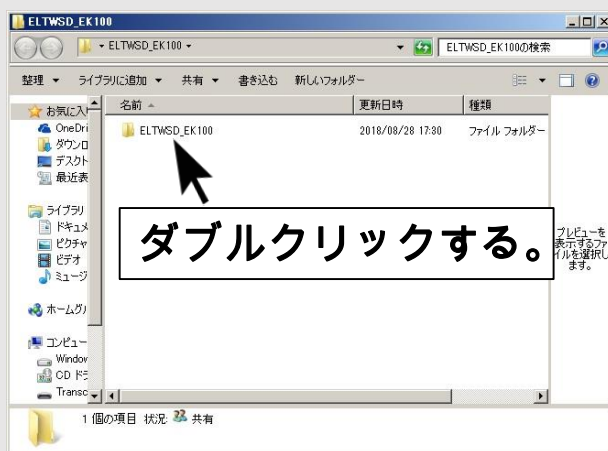


右クリック。「全て展開」を選択。



クリックする。

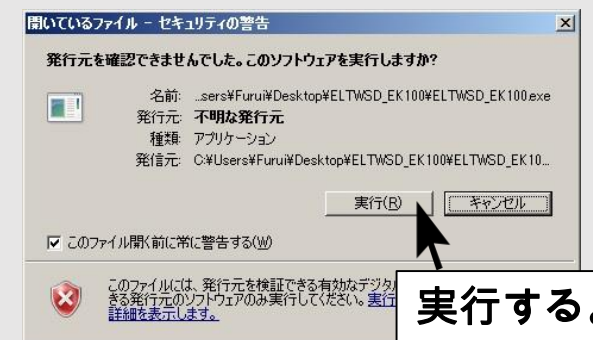
- ② ファイル「ELTWSO_EK100」を開き、ソフトウェア  を実行します。



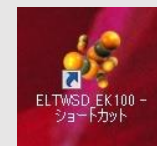
ダブルクリックする。



ダブルクリックする。



実行する。



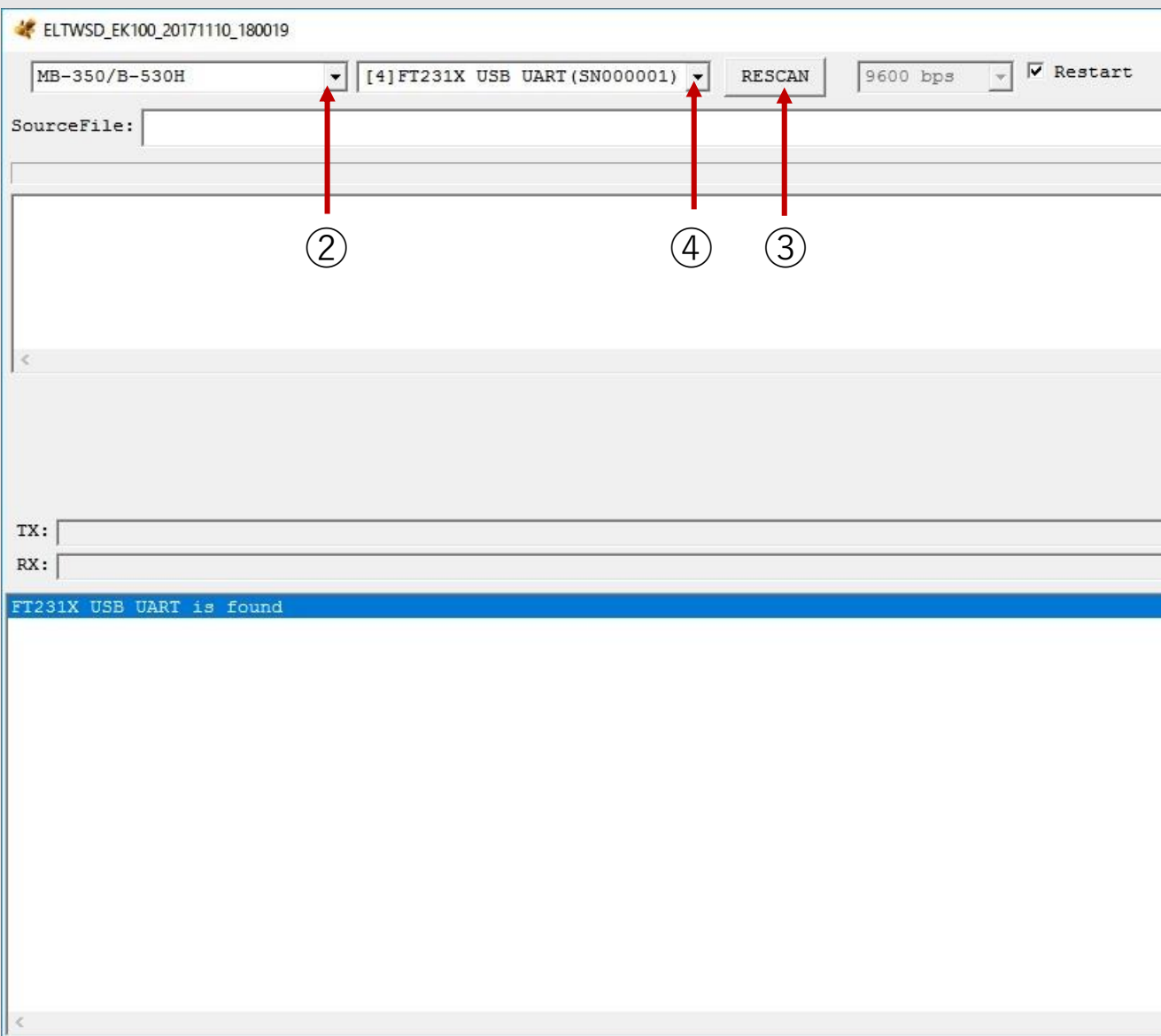
* デスクトップにショートカットを作っておくと便利です。

- 1 . 付属のACアダプターをエアーチェッカー本体に接続し、コンセントをいれてください。
 - 2 . 付属のUSBケーブルをPCとエアーチェッカー本体に接続してください。
- USBケーブルは市販の物もお使いいただけます。USB型 : A-miniB




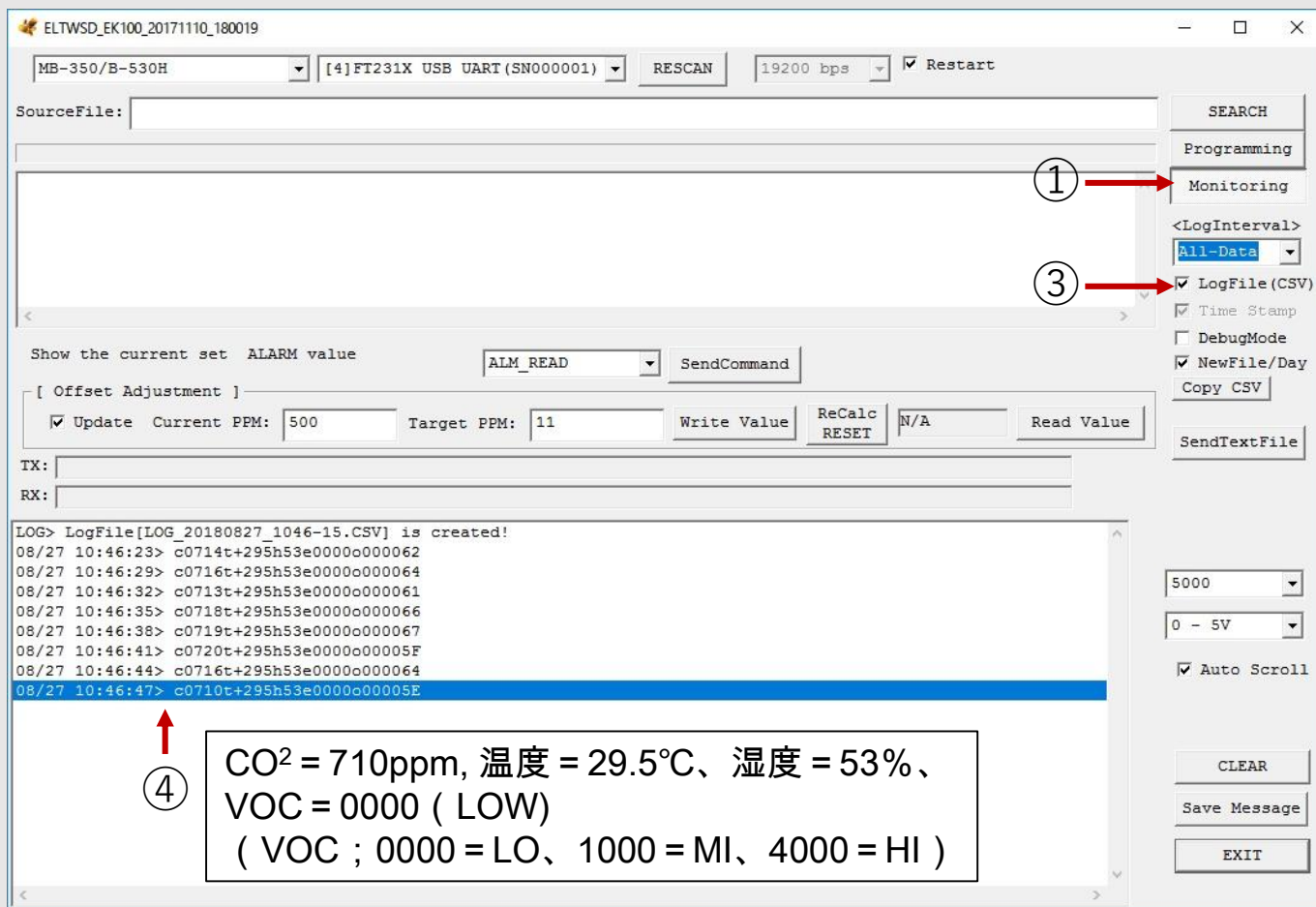
USBケーブルポート (ミニB口)

ACアダプターポート



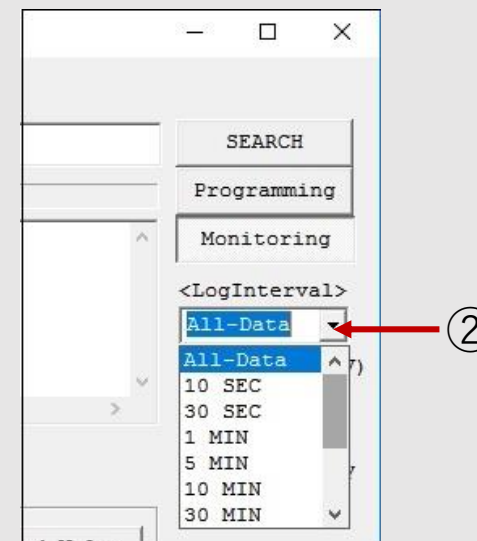
1. MB-530本体とソフトを接続します。

- ① 「ELTWSD_EK100」  を起動します。
- ② 「▼」をクリックして「B-350/MB-530H」を選択します。
- ③ 「RESCAN」をクリックします。
- ④ 「▼」をクリックしてUSBを選択します。
- ⑤ 「CFG>Configuration file is saved!」と表示されたら接続完了です。次からは、接続すると「PT231X USB UART is found」と表示されます。



2 . モニタリングと保存

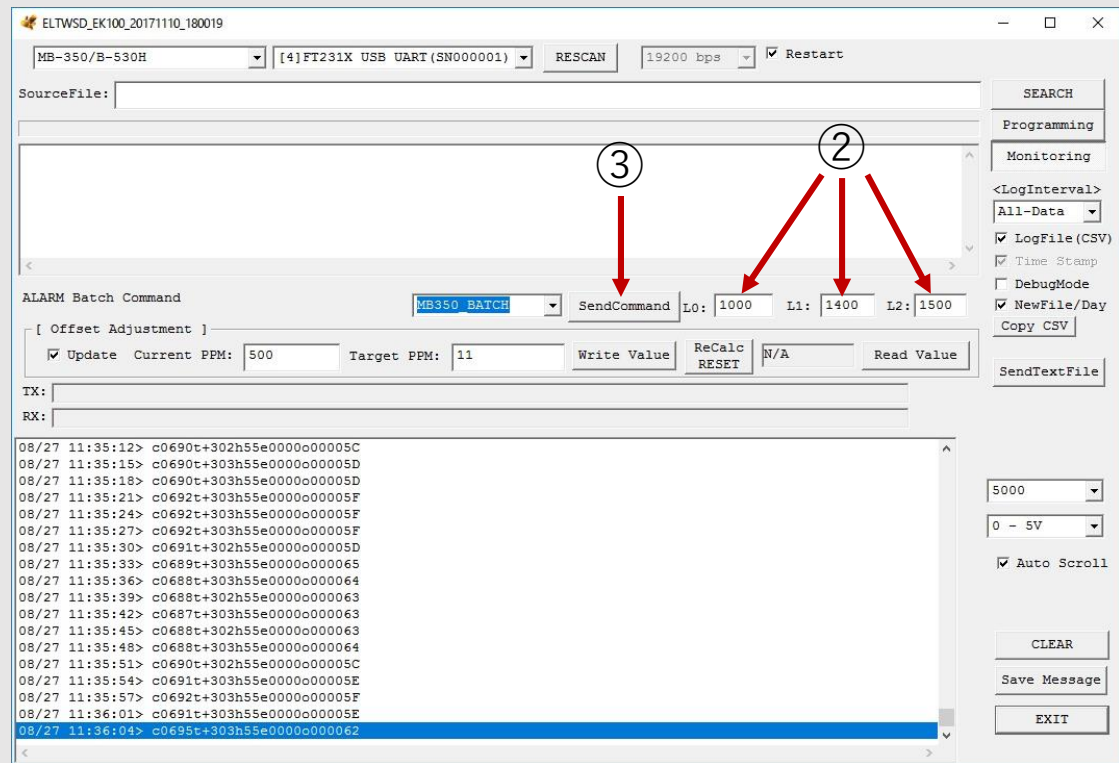
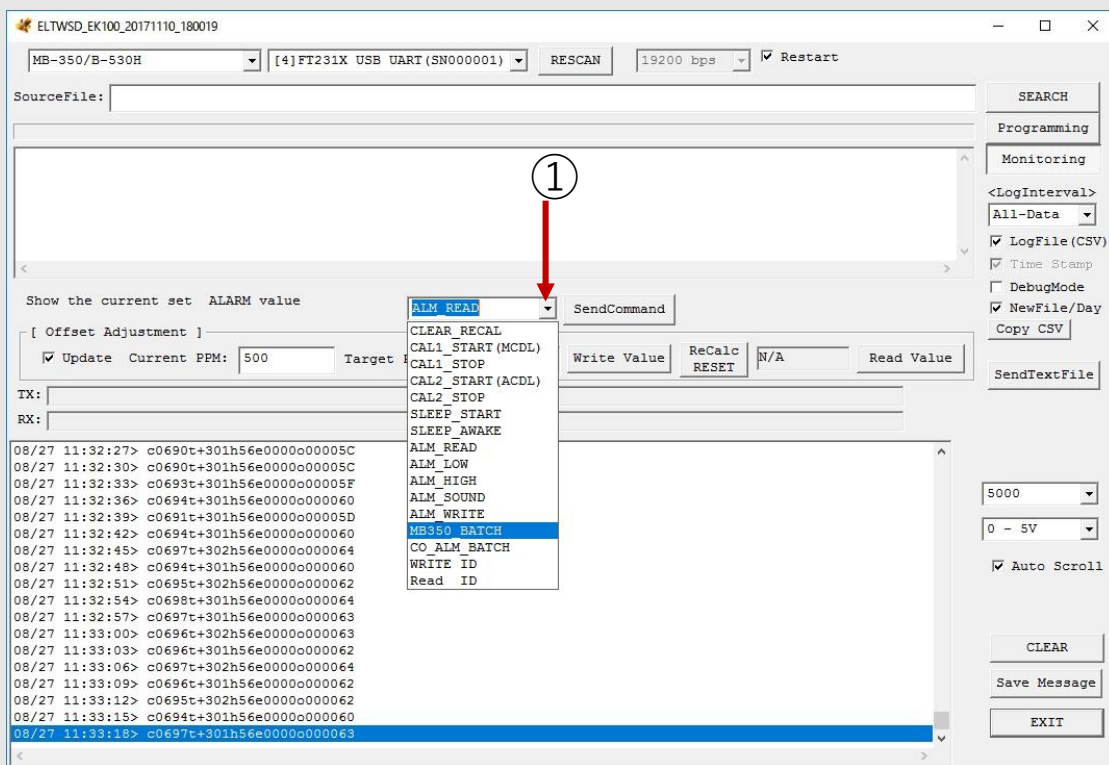
- ① 「Monitoring」をクリックします。モニタリングが開始します。
- ② <LogInterval>の「▼」をクリックして測定の間隔を選択します。
- ③ 「LogFile(CSV)」にチェックを入れるとPCへの保存が開始されます。
- ④ 測定されているデータを確認します。



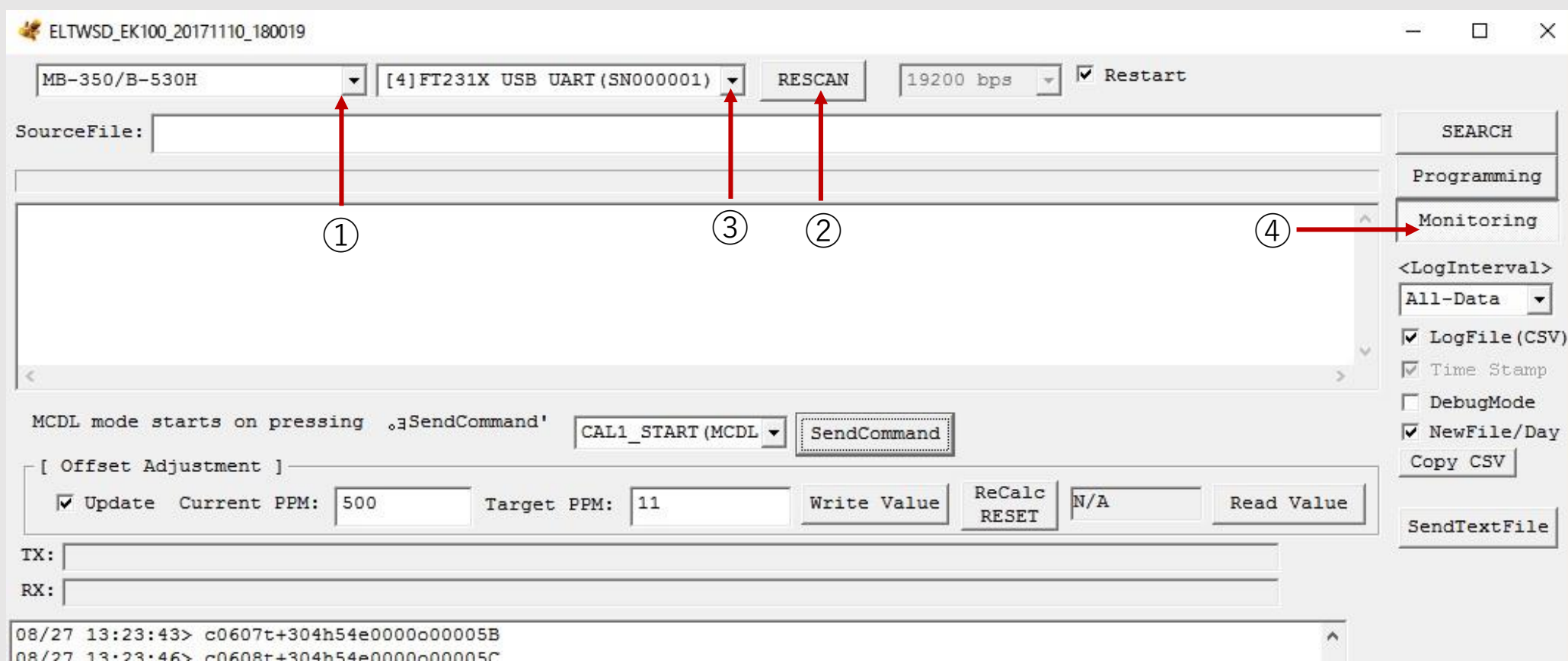
「Monitoring」状態で以下の設定を行います。

- ① Send Commandメニューから「▼」をクリックし、「MB350_BATCH」を選択します。
- ② CO²のppm値を入力します。（デフォルト：L0=1000、L1=1400、L2=1500）
- ③ 「SendCommand」ボタンをクリックすると設定が実行されます。

*LO ● < L0 < MI ● < L1 < HI ● *L2=アラーム音発信濃度



- ① 「MB-350/B-530H」 を選択します。
- ② 「RESCAN」 をクリックします。
- ③ USBを選択します。
- ④ 「Monitoring」 をクリックします。



- ⑤ 「CAL1_START(MCDL)」を選択します。
- ⑥ 屋外など、濃度の安定した場所にモニターを設置し、「SendCommand」をクリックします。約15分待ってください。
- ⑦ 15分経ったら「CAL1_STOP」を選択し、再び「SendCommand」をクリックします。校正が完了しました。

